

一般質問とは定例会で行われ、議員が町政全般について、自分の意見や提案を含めて、町長などの執行機関の考え方や方針などを問いたすことです。

掲載内容は、質問者自身が要約し、広報委員会で校正しています。

高橋 紳章 議員 7P

◆登下校時のこどもの見守り活動の充実を

白水 英至 議員 8P

◆こどもたちをネットトラブルから守る
情報リテラシー・情報モラル教育推進を

丸山 康夫 議員 9P

◆児童生徒の学力向上を

鳴海 圭矢 議員 10P

◆原油・ナフサ不足が与える影響と今後の対策は

古賀 ひろ子 議員 11P

◆空き家対策と未利用地活用による
今後のまちづくりの展開は

小林 孝昭 議員 12P

◆竹害対策と防災・地域循環施策の考えは

安川 禎幸 議員 13P

◆自治体 DX の現状と今後の取組は

議会をもっと身近に

ライブ配信と録画配信をご視聴ください

宇美町議会では、議場で行う議会・特別委員会のライブ配信と録画配信を行っています。

ライブ配信は、議会の傍聴に来られない方のために生中継で配信しています。

録画配信は、議会のホームページから議案審査や一般質問の様子をいつでもご覧いただけます。字幕付きですので音声聞き取りにくい方でも解りやすく、ご覧いただけます。

ライブ配信・録画配信は
こちらから



こどもの見守り活動

私の視点「なぜここを質問したか」

こどもの登下校時の見守り活動が、担い手不足により維持が難しくなっている。今後の見守り活動に対する町の支援の方向性を問う。



登下校時のこどもの見守り活動の充実を

答弁(町長) 誇りとやりがいを感じられる環境づくりに取り組む

高橋 紳章 議員

録画配信は
こちらから ▶



問 地域のこどもの見守り活動の体制は。

答 学校教育課長

地域の実情に合わせて、PTAや自治会の育成会、保護者が分担して登下校時の見守りを行っている。

加えて、こども見守りシステム「ツイタもん」を全小学校で導入しており、一部の児童で利用されている。

問 企業による見守り活動が行われている地域もあるが、町が主体的に協力体制を呼びかける考えは。

答 学校教育課長

企業には、各学校と連携しながら、まずは「※ながら防犯」への協力を呼びかけていきたい。

問 新たな事業として、こどもの見守り活動を宇美町コミュニティ・センターに担ってもらおう考えは。

答 管財課長

定款や運営体制の制約などにより、新たな事業の追加は難しい。

い状況である。

問 本町で交通指導員として会計年度任用職員を確保を検討する考えは。

答 学校教育課長

現在は、企業などへの委託や会計年度任用職員を雇用して見守り活動を行う方針は考えていない。まずは、学校とともに地域ボランティアの継続的な確保に努め、さまざまな手法で見守り活動を研究していく。

問 地域と町が一体となったこどもの見守り活動の充実について、町長の考えは。

答 町長

第一に、学校と地域が連携した仕組みの構築のために「地域学校協働活動」の推進による体制の強化を行う。

第二は、民間企業との新たな連携として「ながら防犯」の輪を広げていく。

第三に、将来を見据えた「新しい仕組み」の研究である。他自治体の事例を参考に、幅広く研究を

進めていく。

「地域の安全は地域で守る」を理念に、見守り活動に関わる方々が誇りとやりがいを感じられる環境づくりに積極的に取り組む。

※「ながら防犯」とは、散歩やウォーキングなどの日常生活で、地域の安全を見守る防犯活動の取組

質問を終えて



こどもの見守り活動は永遠の課題である。町と地域が一体となり、未来を担うこどもたちを安全・安心に見守る体制づくりに期待する。



地域企業による見守り活動